

imcFAMOS What's new 2023

目次

目次.....	1
はじめに.....	2
imcFAMOS アップデート情報 (Version 2023).....	3
1.1 データソースブラウザ.....	3
1.2 クイックビュー.....	4
1.3 パネル.....	5
1.4 インポートフィルタ.....	8
1.5 変数リスト.....	10
1.6 関数アシスタント機能.....	11
1.7 カーブウィンドウ.....	12
1.7.1 カーブウィンドウアシスタント.....	12
1.7.2 バブルプロット.....	13
1.7.3 2つの波形間の領域.....	13
1.8 OLE オブジェクトとしてのカーブウィンドウ.....	14
1.9 Windows エクスプローラーでのプレビュー.....	15
1.10 関数.....	15
1.11 その他.....	16

imcFAMOS What's new 2023

はじめに

この資料ではこのバージョンで実装された新機能と変更点を記載します。

マニュアルは下記Cドライブ下のヘルプにあります。

C:¥Program Files¥imc¥imcFAMOS¥Hlp¥en

もしくはファンクション“F1”でヘルプを参照してください。

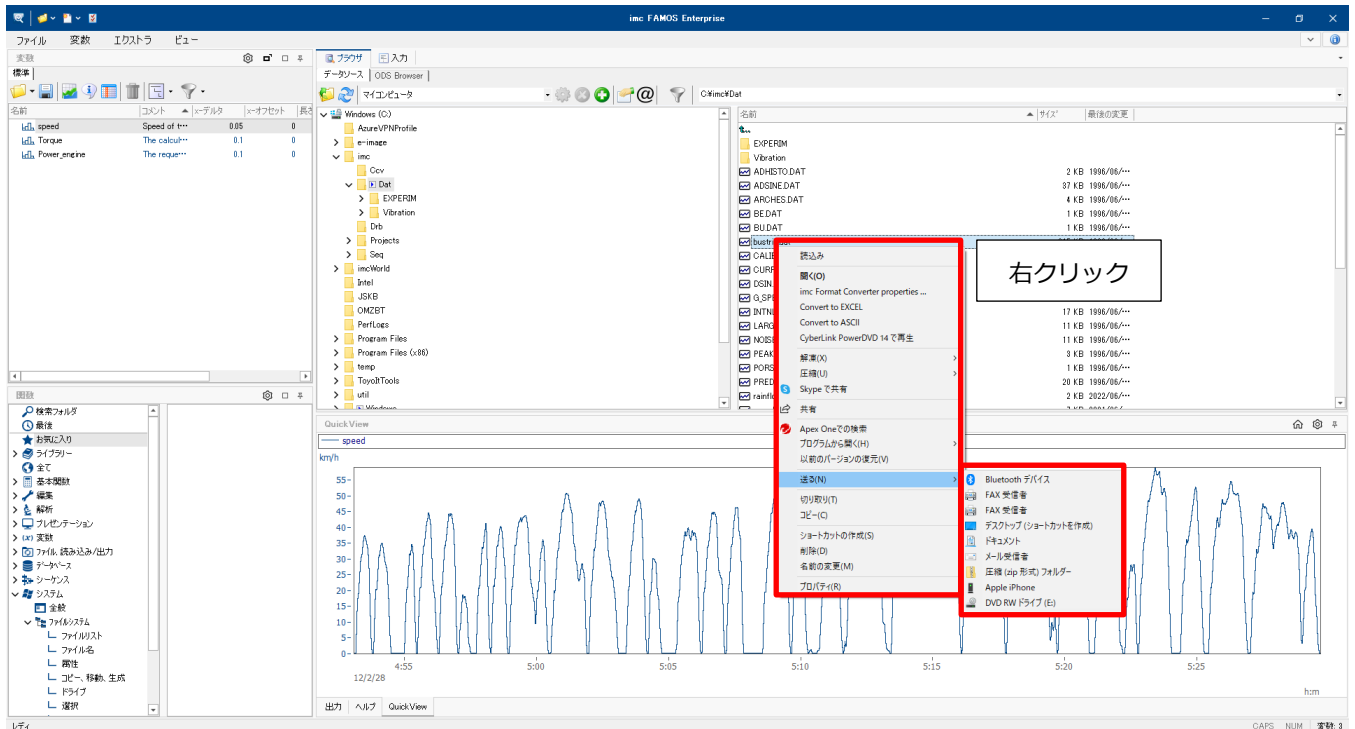
imcFAMOS What's new 2023

imcFAMOS アップデート情報 (Version 2023)

1.1 データソースブラウザ

データソースブラウザの動作を改善しました。特定の Windows エクスプローラー機能が、データソースブラウザのファイルリストで利用可能になりました。

- 右クリックすると、Windows エクスプローラーでおなじみのコンテキストメニューが開きます。



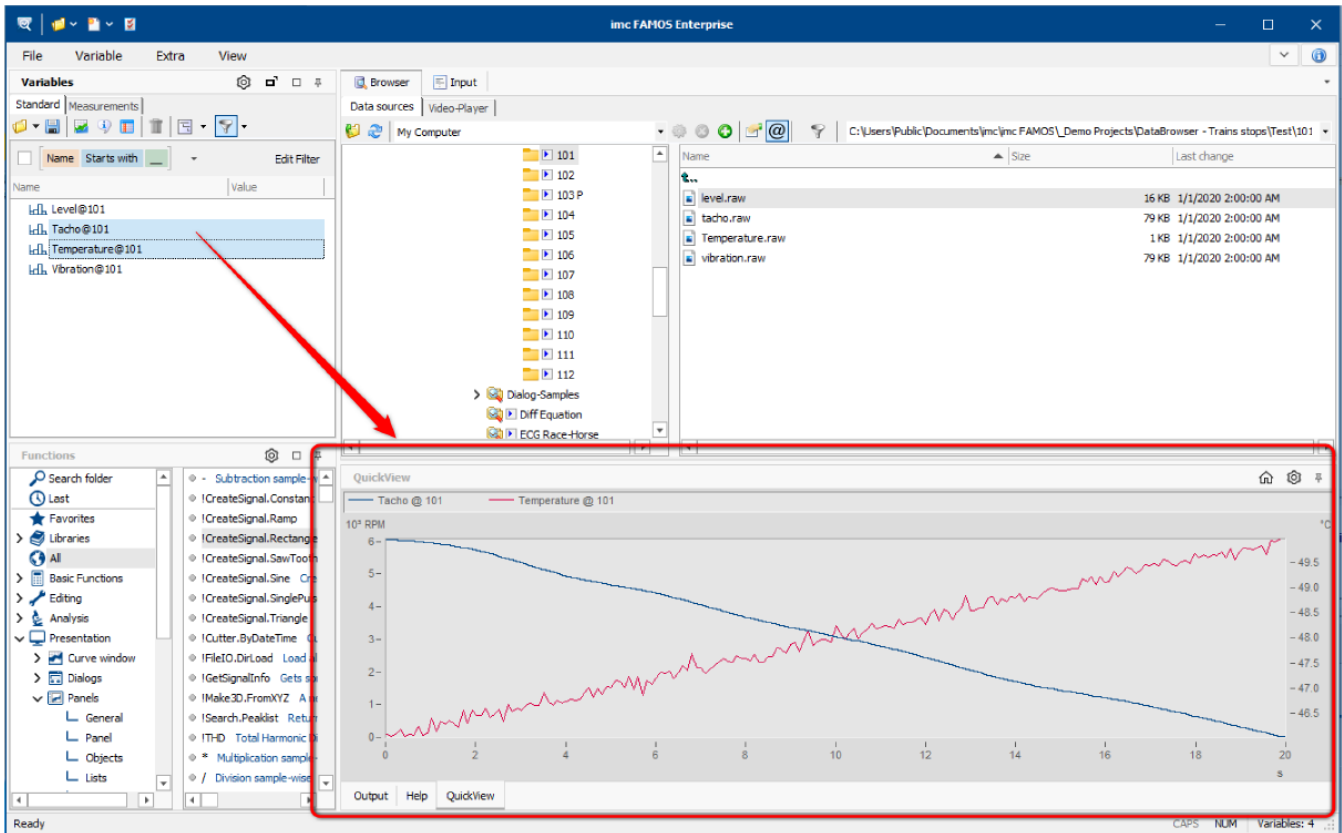
その他の改善点：

- ファイルリストの列の幅と並べ替え順序は、列ヘッダーのコンテキストメニューを使用して調整できるようになりました。
- 並べ替えが改善されました。
- フィルタを使用して、ファイルの選択を制限できます。例えば、“RPM”というテキストを含むファイルのみを表示します。
- マウスボタンを押したままの複数選択も可能になりました。
- 最初の文字を入力することで、次のファイルに簡単にスキップできます。
- デザインは、Windows エクスプローラーのデザインと一致するようになりました。
- ファイルシステムが変更された場合、ファイルリストは自動更新されます。

imcFAMOS What's new 2023

1.2 クイックビュー

クイックビューウィンドウが出力ボックスに統合されました。



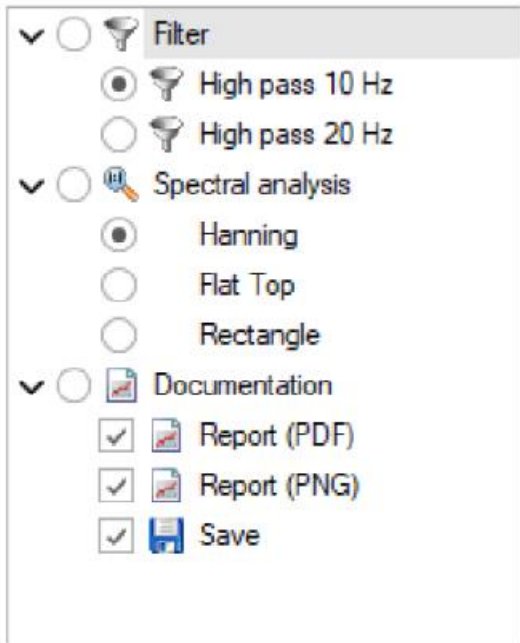
クイックビューウィンドウが組み込まれた出力ボックス

[表示] > [クイックビュー] の [オプション] で、表示される変数の最大数を指定できます。単一の値を無視するようにシステムを設定することもできます。組み込まれたクイックビューウィンドウをドッキング削除することも可能です。以前のバージョンのFAMOSからプロジェクトをロードする場合、プロジェクトプロパティ“カーブウィンドウを開く”がアクティブな場合、保存されたクイックビューウィンドウは古いウィンドウ配置を失い、[出力] ボックスに表示されます。その他の設定は、新しいクイックビューウィンドウにインポートされます。

1.3 パネル

ツリービュー

要素（関数やシーケンスなど）の階層表示用の新しいウィジェット



tree view

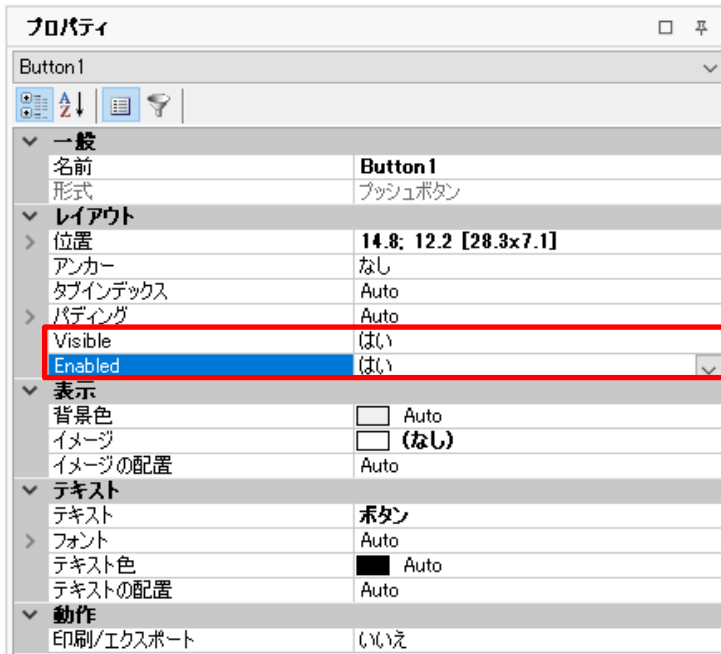
グリッド (mm 単位)

グリッドが mm 単位でスケーリングされるようになりました。パネルの分割やモニターの DPI 設定の違いによる不正確さが解消されました。

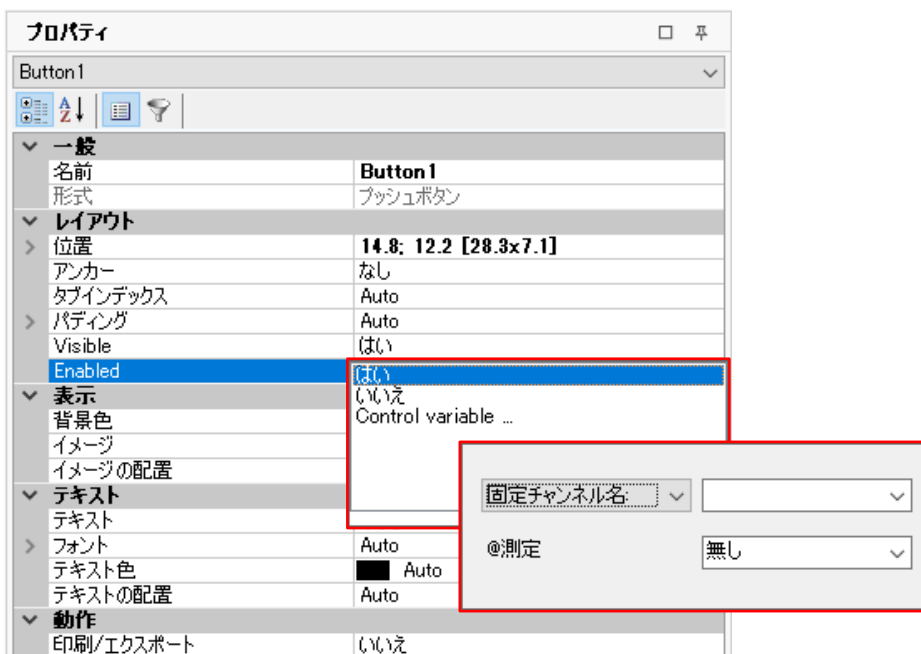
imcFAMOS What's new 2023

ウィジェット:表示/有効

ウィジェットには、「Visible」と「Enabled」という特定の追加プロパティが用意されています。これらのプロパティは "はい" または "いいえ" に設定でき、以前と同様に、関数 `PnShow()` と `PnEnable()` を使用して実行時に変更できます。



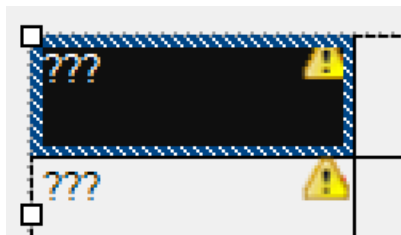
新しい機能は、コントロール変数を使用してこのプロパティを変更できることです。この目的のために、「はい」および「いいえ」と同様に、「Control variable」オプションを使用できます。これにより、ウィジェットのプロパティをシーケンスから制御できます。変数が 0 の場合は「非表示」または「無効」。1 の場合は「表示」または「有効」の指示を行います。なお、変数制御オプションが使用されている場合、関数 `PnEnable()` および `PnShow()` は効果がありません。



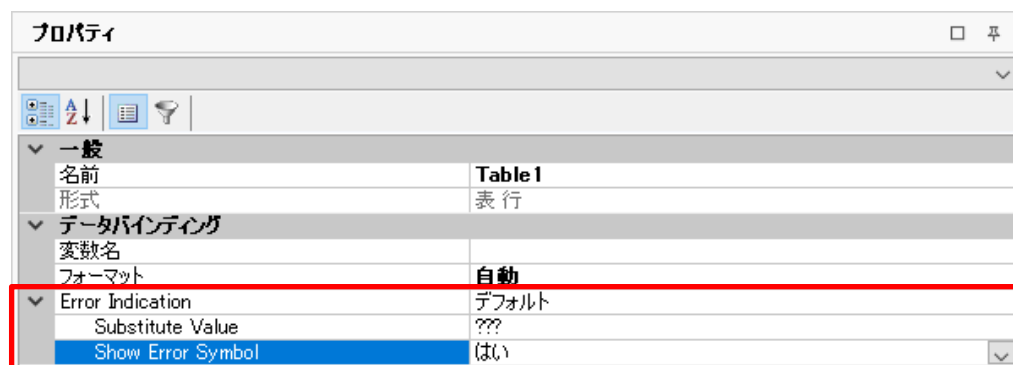
imcFAMOS What's new 2023

データ連携

デフォルトでは、欠落している変数は黄色の警告三角形で示されます。

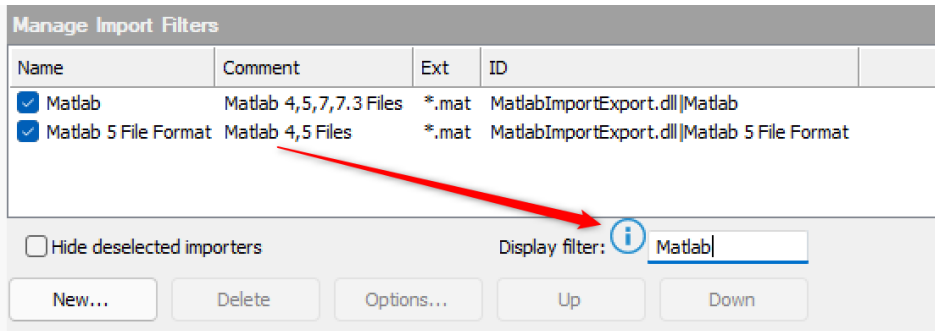


また、3つのクエスチョンマークの代わりに、代替値を表示できるようになりました。黄色の警告三角形は表示/非表示にすることができます。



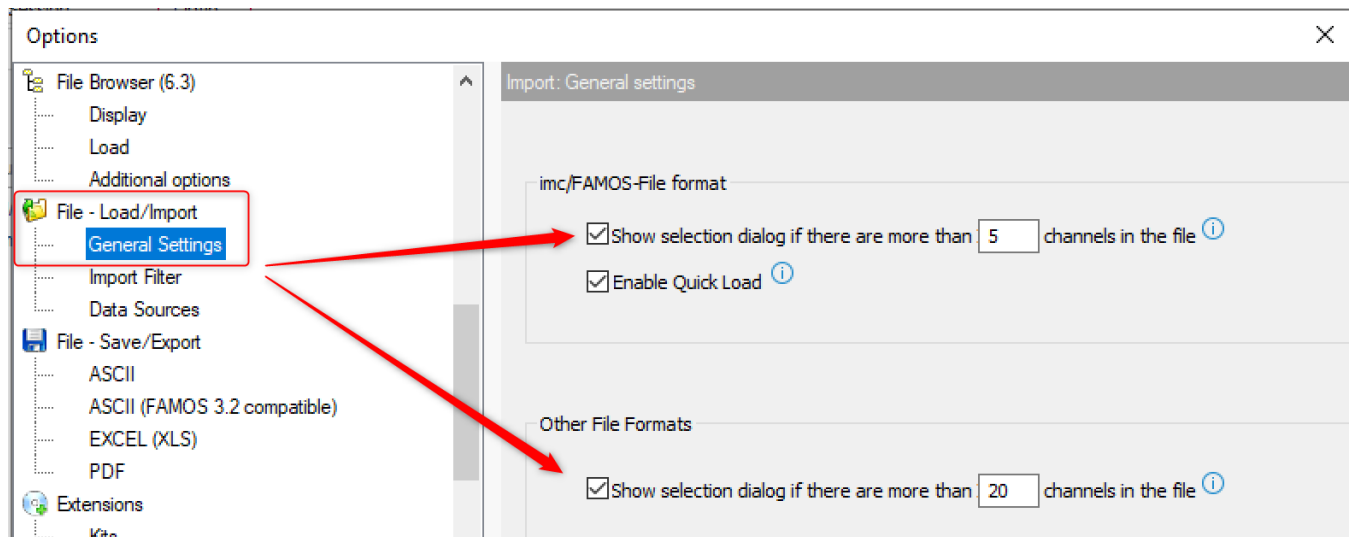
1.4 インポートフィルタ

インポートフィルタのリストは、表示フィルタによって制限できるようになりました。



チャンネル選択ダイアログ

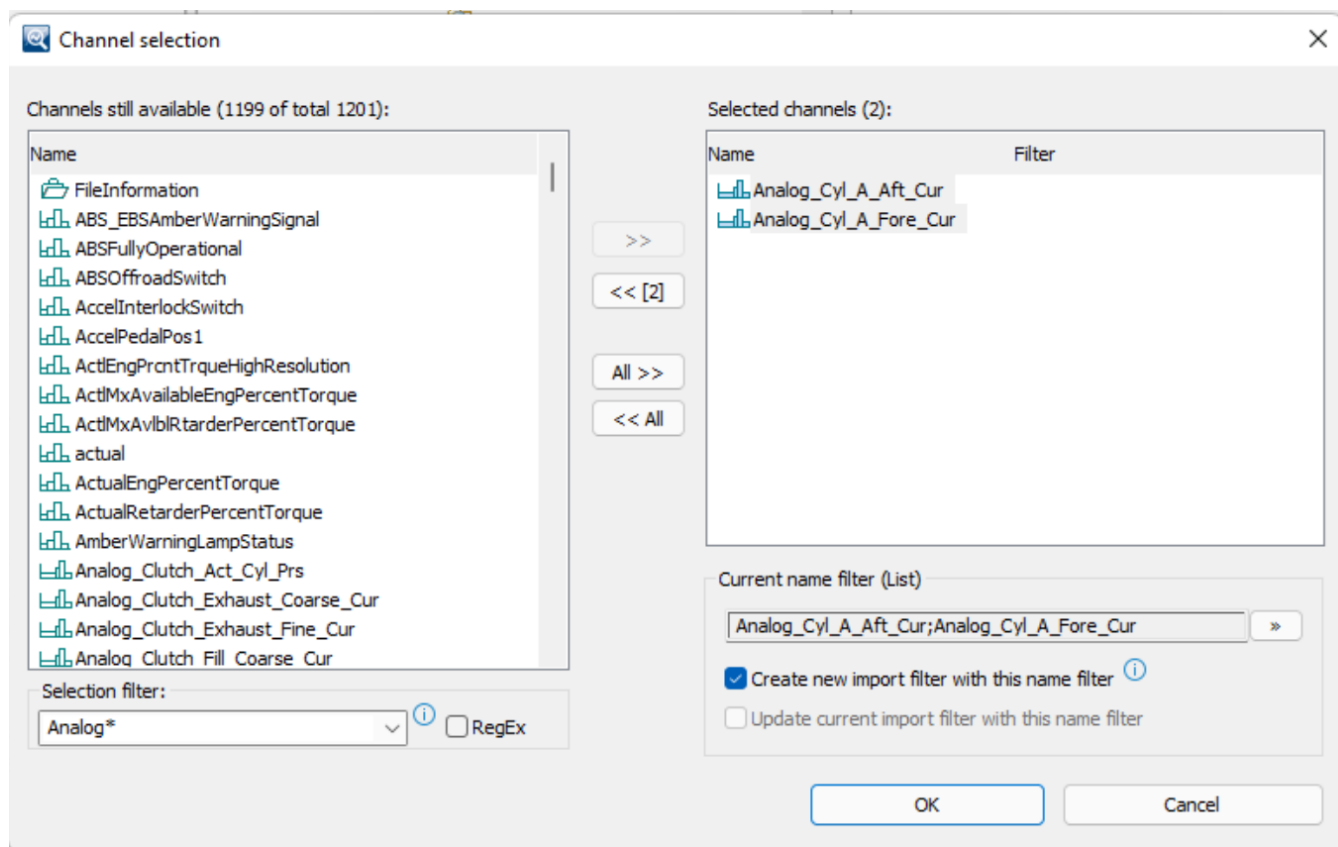
オプションで、「チャンネル選択」ダイアログを使用して、対象のデータセットをファイルからロードすることができます。これは、すべてのファイル形式で可能になりました。このダイアログは、「ファイルの読み込み/インポート > 一般設定」のオプションの1つとして、「ファイルに n チャンネル以上ある場合は選択ダイアログを表示する」としてアクティブ化されます。



チャンネル選択アシスタントのアクティブ化

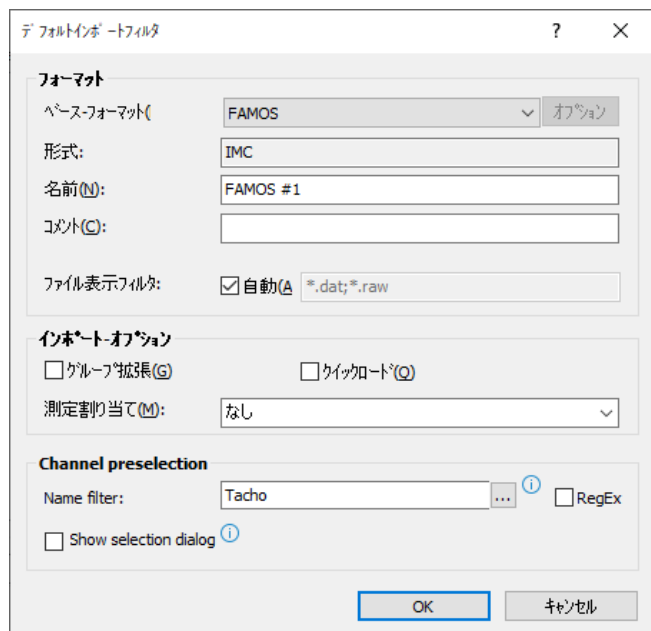
このオプションを有効にすると、ファイルに上記で指定した数よりも多くのデータオブジェクトが含まれるたびに、選択ダイアログが自動的に表示されます。

imcFAMOS What's new 2023



チャンネル選択アシスタント

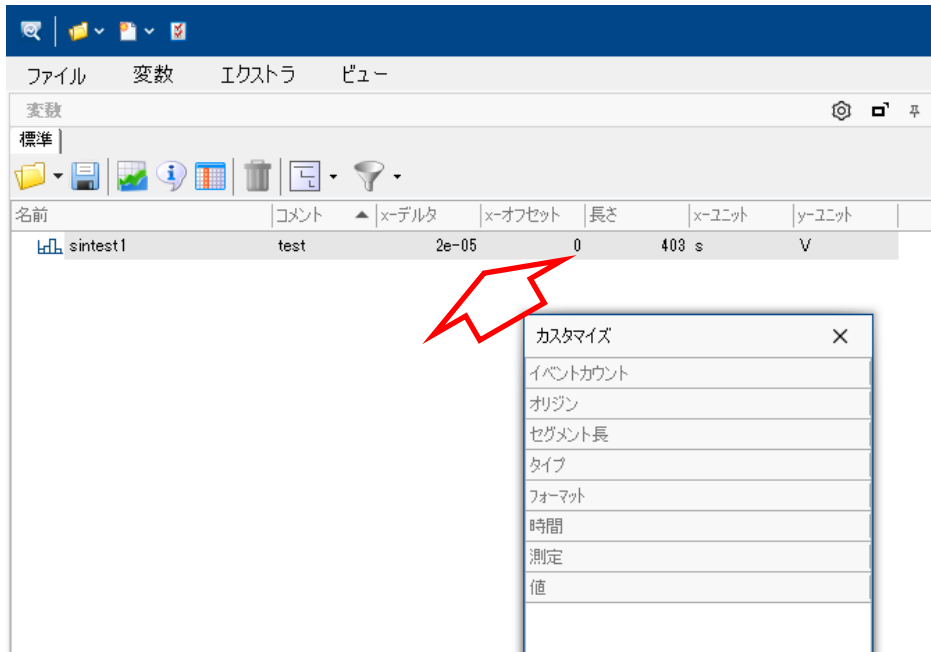
さらに、利用可能なチャンネルのリストは、選択フィルタを使用して制限できます。「Create new import filter with this name filter」のチェックボックスがオンになっている場合、インポート後に、派生のインポートフィルタを作成するためのダイアログが表示されます。



imcFAMOS What's new 2023

1.5 変数リスト

インプレースエディタ機能が追加されました。



変数の次のプロパティを [変数] リストで直接変更できるようになりました。

- 変数名
- x-変化量, x-オフセット
- x- & y-単位
- トリガー時間

既定では、ダブルクリックするとテキストが編集モードに変わりますが、このプロパティは [オプション] で設定できます。

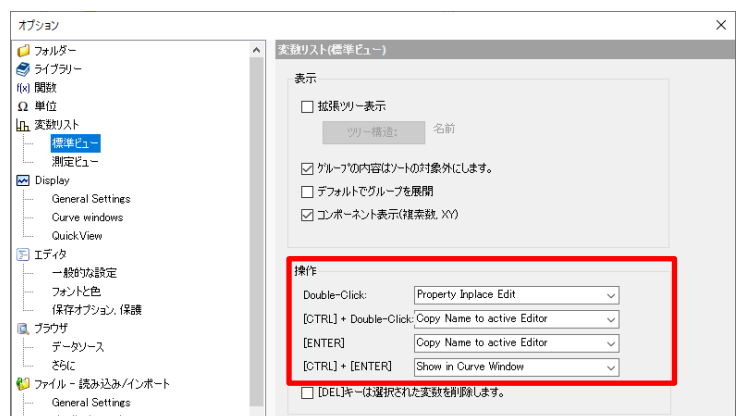
操作

[オプション] では、次のイベントを割り当てることができます。

- ダブルクリック
- Ctrl+ダブルクリック
- ENTER
- Ctrl+ENTER

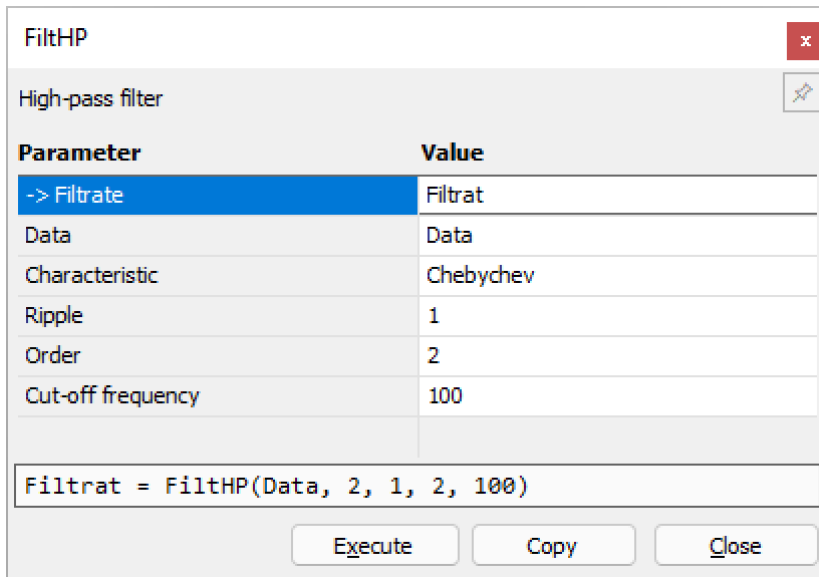
これらのイベントは、次のアクションに対して呼び出すことができます。

- インプレースエディタ
- 入力ウィンドウへのコピー (以前のバージョンでのダブルクリックに対応)
- ディスプレイ (カーブウィンドウ)



1.6 関数アシスタント機能

関数アシスタント機能が改善されました。



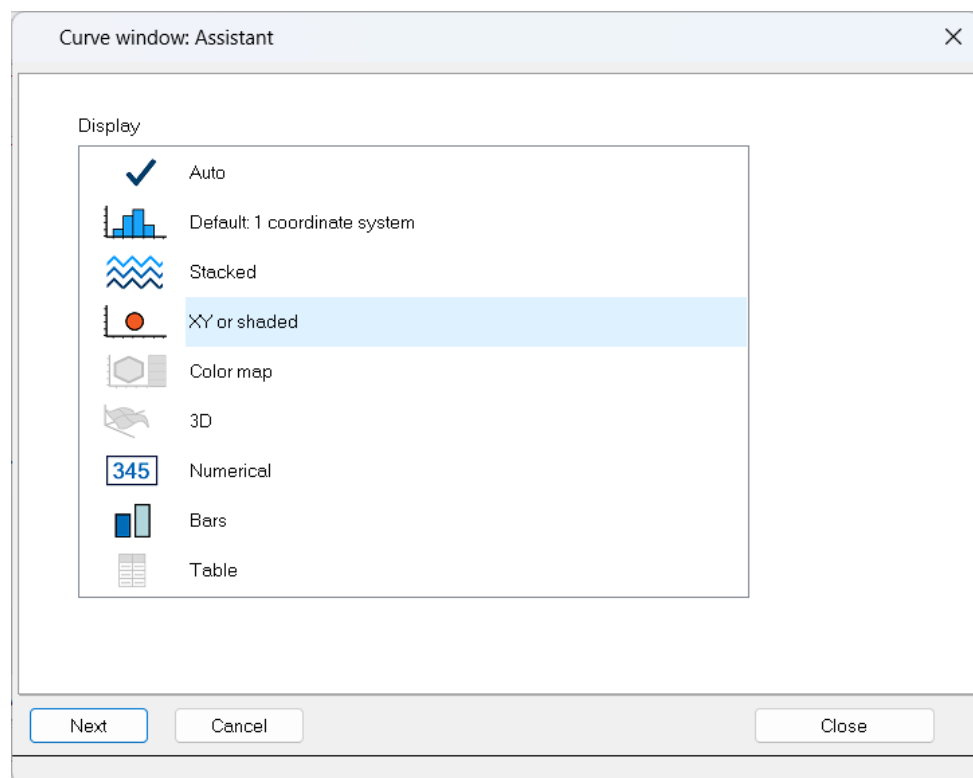
関数アシスタントダイアログの例: 'FiltHP' のパラメータ化

- 近代化された、よりコンパクトなデザイン
- 変数名のスマートオートコンプリート(変数タイプに応じた事前フィルタリング)
- ドラッグ&ドロップを適用して変数の名前をライブラリ内の関数に移動すると、関数の最初のパラメータが入力されます。追加のパラメータは、最後の呼び出しの内容を受け取ります。
- パラメータが欠落している間は、実行ボタンを作動させることはできません。
- ファイル名を必要とするパラメータの場合、選択ダイアログが開きます。
- ドラッグ&ドロップは、Windows エクスプローラーからパラメータボックスへのドラッグ&ドロップも可能になりました (ファイル名はそこに適用されます)。
- ツールチップは、ボックスの内容が長くなりすぎて完全に表示できない場合に表示されます (例:長い変数名)。
- 現行パラメータを変更すると、オンラインヘルプテキスト内の対応する位置がスクロールして表示され、選択されます。

1.7 カーブウィンドウ

1.7.1 カーブウィンドウアシスタント

カーブウィンドウの表示アシスタントは、次数スペクトルや行列などの特別なプロパティを持つ複数の変数またはデータセットが表示される場合に、オプションで使用できます。

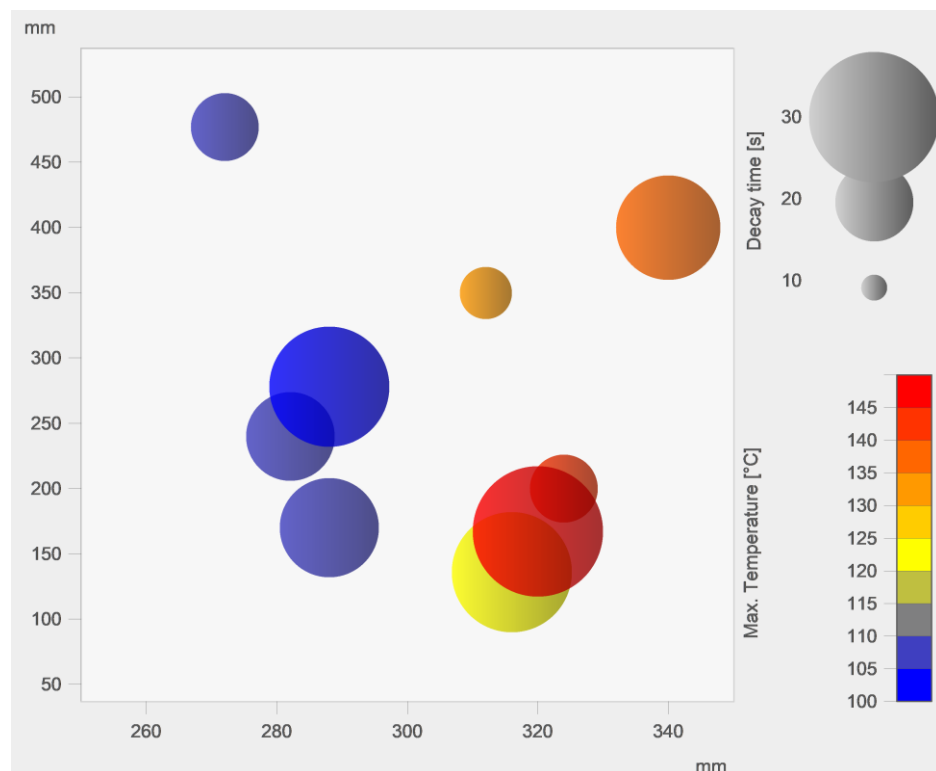


カーブウィンドウ : アシスタント

imc FAMOS オプションで、カーブウィンドウアシスタントを自動的に表示するか、高度なキーボードの組み合わせに応じてのみ表示するかを設定できるようになりました。

1.7.2 バブルプロット

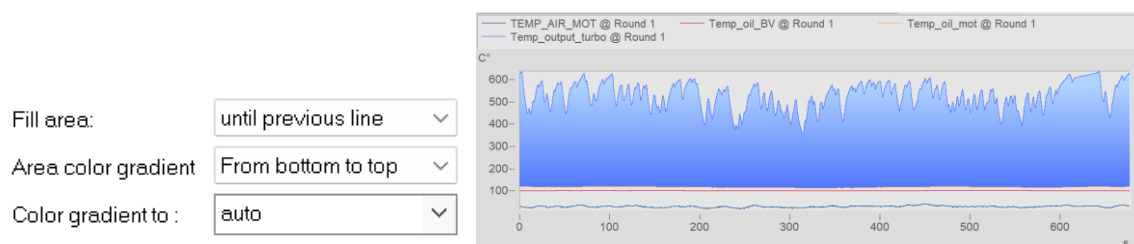
表示タイプのバブルプロット(「バブルチャート」)を選択できるようになりました。ここで表示される記号は、3つの変数の値を表します。2次元カーブウィンドウ内の位置に加えて、別の変数の値はディスク形状のサイズで示されます。必要に応じて、バブルの色は3番目の変数の値を表すことができます。



バブルプロット例

1.7.3 2つの波形間の領域

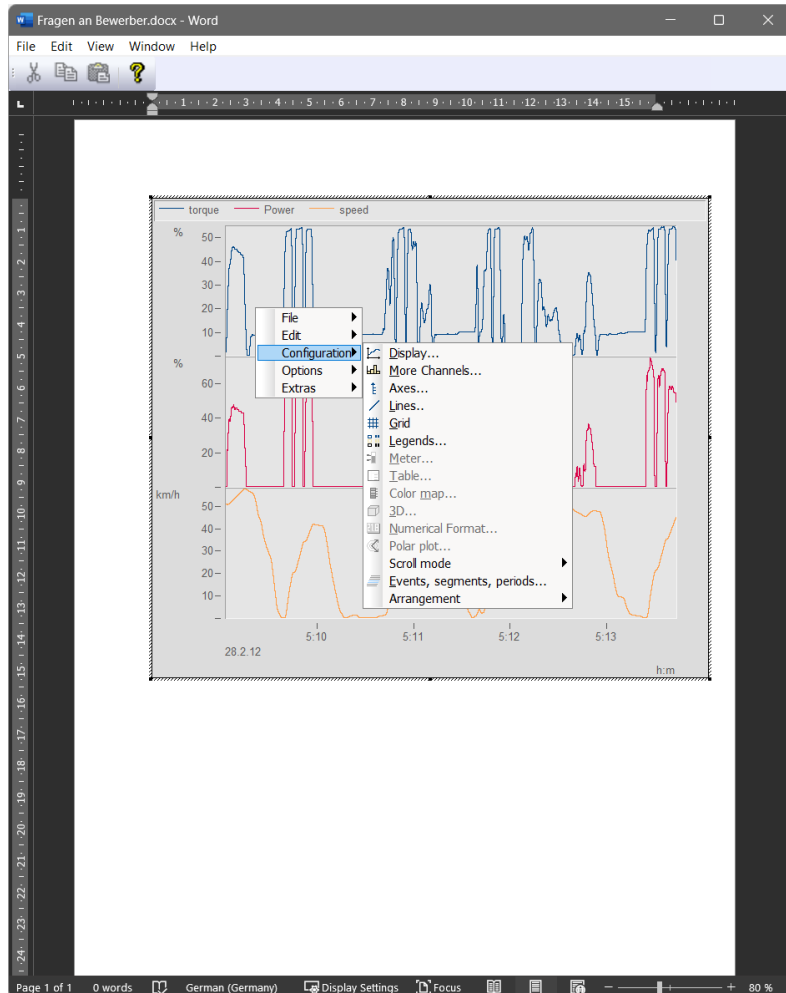
2つの波形間の設定における、塗りつぶし機能が強化されました。



「塗りつぶし領域:前の行まで」の場合、曲線ウィンドウ内の2つの連続する線の間の領域を塗りつぶすことができるようになりました。

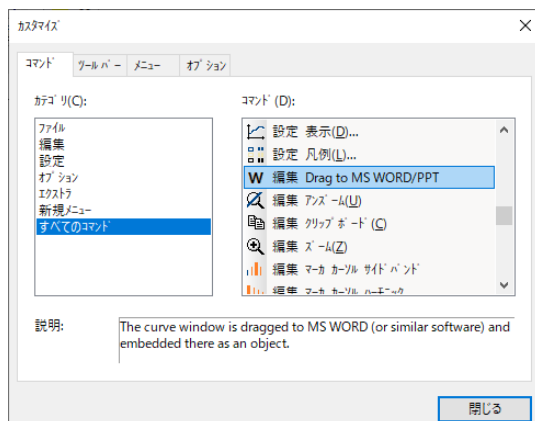
1.8 OLE オブジェクトとしてのカーブウィンドウ

すべての編集オプションを含むカーブウィンドウを Microsoft WORD に埋め込むことが、imc FAMOS のエンタープライズエディションで可能になりました。転送は、メニュー編集 MS WORD へ、またはツールバー通信のボタン **W** を介して行われます。



<注意>

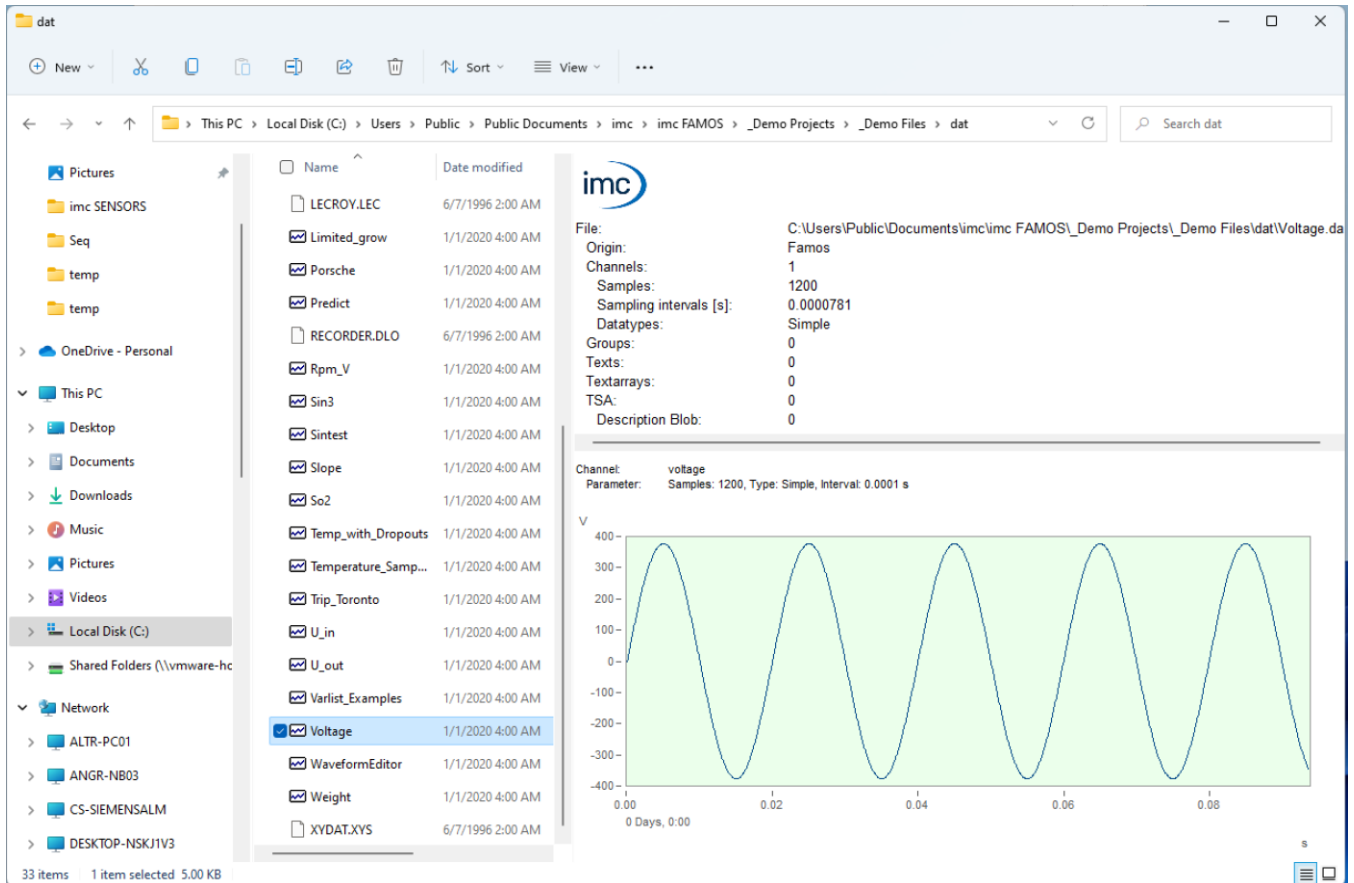
新しいボタン **W** は、imc FAMOS を最初にインストールした場合にのみ、コミュニケーションツールバーにデフォルトで表示されます。既存のメニュー構成はアップデート中に上書きされません。(つまり FAMOS をアップデートした場合には、デフォルトで現れません。) カーブウィンドウメニューの「Extra > メニューとツールバー > カスタマイズ」から「編集 Drag to MS WORD/PPT」のボタンを任意のツールバーに割り当てることができます。



imcFAMOS What's new 2023

1.9 Windowsエクスプローラーでのプレビュー

imcFAMOS ファイルは、プレビュー機能がアクティブになっている場合、Microsoft Windows エクスプローラーを使用して表示できるようになりました。



1.10 関数

Excel-Kit

リモートコントロール機能のための Excel-Kit が機能追加されました。

- 複数ページのテーブルを持つブックのサポート (名前またはインデックスによる検索、読み取りと書き込み、名前の変更)
- テキスト配列型を取る変数の転送
- 印刷範囲
- 条件付き書式 (フレームの色、太さ、テキストの色、フォント、配置など)

ファイル関数

テキストフィールド変数をテキストまたは xlsx 形式で保存するためのサポートが改善されました。 ([FileSave](#), [FileOpenASCII2](#), [FileOpenXLS2](#))。

データ処理

"Lost Value", "Not a Number"などを処理するための関数 ([LostValueFill](#), [LostValueGaps](#), [LostValueReplace](#))

imcFAMOS What's new 2023

1.11 その他

起動時間

imc FAMOS の起動が、ネットワークドライブに到達できない場合に遅延することがなくなりました。

データフォーマット

- imc FAMOS V2023 をインストールすると、ファイル形式「imc3」がデフォルトとして実装されます。必要に応じて、imc FAMOS オプションから互換性のあるファイル形式「imc2」をデフォルトとして選択できます。
- 数値範囲が拡張されました。 -1e100...-1e-100, 0, 1e-100 ...1e100

高感度

異なる DPI 設定でのマルチモニタ設定のサポートが改善されました。

システムの前提条件

最低限必要なオペレーティングシステムは Windows10 / 1607 になりました。このバージョン以降でのみ、マルチモニタ操作でさまざまな DPI 解像度が適切にサポートされます。

imc LICENSE Manager

imc FAMOS 2023 では、imc ライセンスマネージャーVer.4.2 がインストールされます。これは、IPv4 だけでなく IPv6 もサポートします。

Python kit

Python Ver.3.11 をサポートします。

以上